

**後期研修 E 領域別研修（事例）**  
**士会「主催」症例検討会**  
**実施マニュアル**  
**—第1版—**

作成者	公益社団法人日本理学療法士協会
作成日	2021年6月30日
最終更新日	2025年7月1日

## 更新履歴

No.	更新日	更新内容
1	2022/3/30	「2.4 注意事項」を更新しました。
2	2022/8/17	「3.6 履修登録」を更新しました。
3	2023/3/15	「2.1 開催要件」を更新しました。
4	2023/10/30	「2.1 開催要件（※3.4.6点目の更新）」「3.2 症例検討会情報の登録（※3点目追加）」を更新しました。
5	2024/5/10	「2.1 開催要件（※1点目追加）」を更新しました。
6	2025/7/1	「1. 後期研修 E 領域別研修（事例）」に「協会主催症例検討会」を追記しました。

※本マニュアル内に「QRコード」の記載がありますが、「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

## 目次

---

1. 後期研修 E 領域別研修（事例） .....	4
2. 開催要件等 .....	5
2.1 開催要件 .....	5
2.2 オンライン形式開催条件 .....	5
2.3 読み替え .....	6
2.4 注意事項 .....	6
3. 企画から履修登録までの流れ .....	7
3.1 症例検討会の企画 .....	7
3.2 症例検討会情報の登録 .....	7
3.3 聴講者の申込受付 .....	8
3.4 症例検討会の開催準備 .....	9
3.5 症例検討会の開催 .....	10
3.6 履修登録 .....	11
4. FAQ .....	12
5. 問い合わせ先 .....	14

## 1. 後期研修 E 領域別研修（事例）

---

- ・後期研修 E 領域別研修（事例）とは、症例検討会を指し、「協会主催症例検討会」、「士会主催症例検討会」、「士会承認症例検討会」の3区分に分かれます。
- ・「士会主催症例検討会」とは、都道府県理学療法士会が主催者として、企画・実施する症例検討会です。

### 【後期研修 E 領域別研修（事例）講義テーマ 詳細】

講義名	講義テーマ
E 領域別研修（事例）	E-1：神経系理学療法学
	E-2：運動器系理学療法学
	E-3：内部障害系理学療法学

※上記テーマは後期研修のカリキュラムとして定められているものです。

## 2. 開催要件等

### 2.1 開催要件

★以下すべての要件を満たすこと

1. 都道府県理学療法士会の主催であること。または、都道府県理学療法士会と他団体の共催であること。  
※「主催」「共催」以外の「後援」「協賛」「協力」などは対象外とする  
※「共催」については、2024年6月1日以降の開催分より対象とする  
※他団体の範囲に定めはなく、都道府県理学療法士会にて決定する
2. 必ず選択する講義テーマ（後期研修E1～E3）に応じた内容で開催すること。
3. 1回の開催ごとに発表者、聴講者の履修管理ができること。
4. 発表による履修コマ数は、1回の発表で1コマとし、質疑応答・ディスカッション等を含めた発表質疑時間は可能な限り30分、もしくはそれ以上を推奨する。
5. 聴講による履修コマ数は、1回の聴講で1／3コマ、3回の聴講で1コマとすること。
6. 座長は「登録理学療法士」であること。  
※座長とは別にファシリテーターを置くことは可能だが、ファシリテーターも「登録理学療法士」であること（2023年度から適用）。  
※休会者および会員権利停止者は登録理学療法士であっても対象外
7. 参加費を徴収しない（無料で開催する）こと。  
※会員（在会、入会手続中）に対して無料で開催することを規定するものであるため、休会者、会員権利停止者、非会員の参加可否および参加費を徴収するか否かは主催者判断とする。
8. WEBシステム等を利用したオンライン開催も士会の判断により可能とするが、開催条件や注意事項に十分留意すること。

### 2.2 オンライン形式開催条件

★以下すべての要件を満たすこと

1. 参加（聴講・発表）者の管理ができること。
2. 双方向により質疑応答等の疎通が可能であること。

## 2.3 読み替え

- ・士会学会またはブロック学会の発表は読み替えないものとする。
- ・ただし、「2.1 開催要件」に準じて、士会学会またはブロック学会にて症例検討会を行えば、対象となる。

## 2.4 注意事項

- ・開催規模（聴講・発表者数）に定めはありません。
- ・開催時間の内訳に定めはありません。発表と質疑応答・ディスカッション等の時間配分は主催者でご決定ください。
- ・症例検討会当日に聴講・発表するものであり、当日の様子を録画し、後日視聴することで聴講とは認められません。
- ・履修は認められませんが、後期研修履修者以外（前期研修履修中、登録理学療法士）、非会員（休会中を含む）を聴講・発表可能とするか否かは、主催者で決定できます。
- ・登録理学療法士であっても休会者や会員権利停止者は座長にはなれません。年会費を所定の期日までにご入金されない場合、会員権利は停止、座長の要件を満たさなくなりますので、座長選定の際はご注意ください。

### 3. 企画から履修登録までの流れ

- ①症例検討会の企画
- ②セミナー情報の登録
- ③聴講者の申込受付
- ④症例検討会の開催準備
- ⑤症例検討会の開催
- ⑥履修登録

#### 3.1 症例検討会の企画

- ・「後期研修 E 領域別研修（事例）」の講義テーマ（E-1、E-2、E-3）に該当する内容に基づき、開催要件を遵守し、都道府県理学療法士会にて症例検討会を企画してください。

#### 3.2 症例検討会情報の登録

- ・必ず事前に症例検討会情報の登録を会員管理システムより行ってください。
- ・セミナー情報の登録手順については、「新・包括的会員管理システム操作マニュアル（士会担当者向け）-症例検討会について-」をご参照ください。
- ・下記のような開催事例で、各発表を1回として開催し、履修付与対象としたい場合、セミナー番号を分ける、または、同じセミナー番号で講義情報を複数作成する必要があります。複数の発表であっても1回と扱う場合は、セミナー番号（講義情報）は1つです。いずれかの方法を推奨するというものではないため、主催者方針で決定してください。

※履修付与（発表1コマまたは聴講1/3コマ）は「講義番号」単位です

##### 【セミナー登録例と履修コマ数の関係】

★事例★ 2023/11/1 19:00～20:00 で症例検討会を実施して2名の発表を行う

≪1≫各発表を1回として開催し、履修付与対象としたい場合

- ・2023/11/1 19:00～19:30「▲に関する症例」（※この単位で講義番号を取得）  
→発表者A：履修コマ数1コマ、聴講者B：履修コマ数1/3コマ
- ・2023/11/1 19:30～20:00「■に関する症例」（※この単位で講義番号を取得）  
→聴講者A：履修コマ数1/3コマ、発表者B：履修コマ数1コマ

《 2 》複数の発表であっても 1 回として開催する場合

- ・ 2023/11/1 19:00~20:00 (※この単位で講義番号を取得)

「▲に関する症例」：発表者 A、聴講者 B / 「■に関する症例」：発表者 B、聴講者 A

→発表者 A：履修コマ数 1 コマ、発表者 B：履修コマ数 1 コマ

※ 1 つの講義番号に対して発表または聴講のいずれかの履修付与であるため、この場合、聴講 1/3 コマは付与されない。付与したい場合は、《 1 》で実施する必要がある。

### 3.3 聴講者の申込受付

- ・ 登録したセミナー情報を公開し、申込受付を開始してください。なお、発表者は士会独自の方法で募集、選定、管理してください。
- ・ マイページを介した受付の場合、申込者情報は会員管理システムから確認できます。

### 3.4 症例検討会の開催準備

- ・開催準備方法に特段の決まりはありませんので、士会の運営方針に沿って、ご準備ください。
- ・別途、発表者向け資料として「症例検討会 発表にあたって」を作成していますので、必要に応じてご活用ください。
- ・セミナー情報を登録した場合、マイページを介した申込有無を問わず、聴講者受付用のコードが取得できます。当日、対面で参加する聴講者の受付時にQRコードを印刷もしくはスマートフォン等で表示させ、対象者が読み取ることで、開催後の履修登録が簡略化できます。
- ・基本的に対面開催時の聴講者受付はQRコードを推奨しています。スマートフォン等未所持者もいますので、紙名簿での受付を制限するものではありませんが、迅速かつ正確な履修登録のため、読み取りが可能な対象者へはQRコード受付を推奨します。

	参加形式	申込方法	当日受付方法
聴講者	対面	マイページまたは 士会任意の方法	QRコードで受付する。 ※QRコード対応不可の場合や当日参加 の場合は紙名簿でも可
	オンライン		士会任意の方法で当日の聴講を確認・管 理する。
発表者	対面	士会任意の方法で 発表者を募集、選 定する。	QRコード、または、士会任意の方法で 受付する。
	オンライン		士会任意の方法で当日の発表を確認・管 理する。

## 【注意事項】

### 1) 全般的な事項

- ・セッション開始前までに、余裕をもって受付を開始すること。参加者へも余裕をもった入室を行うよう周知すること。
- ・担当セッションの進行は予定時間内に終了できるようにすること。
- ・建設的なディスカッションが行えるようなコメントや質問を積極的に取り入れること。
- ・発表者に、基本情報および症例の画像・動画に関しては、個人が特定できないように配慮することを周知すること。

### 2) オンライン開催（対面併用を含む）に関する事項

- ・有線接続またはWi-Fi（公共施設等の無料Wi-Fi等を除く）接続等は問わないが、使用するWEBシステムの推奨環境を提示する等、安定したインターネット環境を用意するよう周知すること。
- ・WEBシステムへログインする際に名前欄に会員番号や氏名を入力を求める等、士会や座長が入退室管理のための参加状況を把握しやすい工夫を行うこと。
- ・基本的にはカメラをオンにして聴講するよう周知すること。
- ・スライドを画面共有するなど、オンライン参加の聴講者にも発表内容が理解できるように努めること。
- ・他者の発表、発言中はマイクをオフ（ミュート）にするよう周知すること。
- ・参加形式問わず質問は可能である旨を周知すること。双方向性が担保されていればその方法は主催者・座長が定めるものとする。

※上記は一例であり、開催方針等に沿って、参加者に周知を行うこと。

## 3.5 症例検討会の開催

- ・都道府県理学療法士会の運営方針に沿って開催してください。

### 3.6 履修登録

・履修登録手順については、「新・包括的会員管理システム操作マニュアル（士会担当者向け）－症例検討会について－」をご参照ください。

・「後期研修 E 領域別研修（事例）」における履修対象は以下の 2 区分の会員のみです。

下記以外の会員も参加は可能ですが、履修登録の対象ではありませんので、ご注意ください。

#### ①後期研修履修中

※聴講または発表どちらでも可能です。

※聴講と発表では履修できるコマ数に違いがあります。

#### ②前期研修履修中（実地研修を D-2 の区分で受講中）

※3回の聴講で実地研修の修了に必要な全 32 コマ数のち 1 コマ分を履修できます。

※上記は聴講が対象であり、発表は含まれません。

・履修登録は都道府県理学療法士会が行います。開催後、速やかに履修登録を行ってください。

履修登録を行いマイページに反映されるまで、聴講・発表したことはみなされません。

・症例検討会は QR コードの読み取りのみでは履修登録されません。必ず「症例検討会履修情報メンテナンス画面」より、登録作業を行ってください。

・誤りがないか十分にご確認の上、登録を行ってください。誤りがあった場合、対象会員の履修状況に重大な影響を及ぼす可能性があります。

・万が一、誤った登録を行った場合、本人へ速やかに連絡してください。

・士会での履修登録誤りに関する修正方法について、都度、本会へ対応方法をご相談ください。

## 4. FAQ

Q：講義テーマが3テーマ（神経系理学療法学、運動器系理学療法学、内部障害系理学療法学）あります。症例検討会で取り扱う具体的な症例内容に関する決まりはあるのですか。

A：士会として独自に要件を設けていない限り、決まりはありません。

Q：発表者の募集方法に決まりはあるのですか。

A：決まりはありません。

Q：座長は登録理学療法士であれば、他士会所属者でもよいのですか。

A：構いません。制限はありません。

Q：参加者を自士会所属者に限定してもよいのですか。

A：構いません。制限はありません。

Q：発表者が後期研修履修者以外（前期研修履修中、登録理学療法士）でもよいのですか。

A：構いません。ただし、前期研修履修コマ、登録理学療法士更新ポイント、認定・専門理学療法士申請要件・更新点数への読み替えはありません。

Q：参加費は無料とあります。他士会所属者も同様ですか。

A：所属士会関係なく一律無料です。有料で開催はできません。

Q：履修登録は全員分をまとめて行う必要がありますか。

A：「士会主催」の症例検討会の場合は、複数回に分けても履修登録が可能です。

Q：QRコードで受付を行った場合も、履修登録作業は必要ということですか。

A：その通りです。QRコードで読み込んだ会員情報は、自動で会員管理サイトに連携され、リスト化されます。この段階では履修登録にはなりませんので、リスト化された対象者が「聴講者」か「発表者」か、士会が確認・選択し、登録する作業は必要です。

Q：参加者の中には「前期研修D-2」の履修を目的とした参加者と、「後期研修E」の履修を目的とした参加者がいます。どちらの目的で参加しているか確認が必要ですか。

A：確認は不要です。参加者の履修状況に応じて履修付与がなされます。

Q：発表者用のQRコードはありますか。

A：ありません。QRコードは聴講者用の1種類です。ただし、発表者の履修登録にあたっては、手入力のほか、聴講者用のQRコードを発表者にも読み込んでもらい、履修登録の画面で該当者を「聴講者」ではなく「発表者」に選択し直して、履修登録する方法もあります。

Q：入室用と退室用の2つのQRコードを表示できますか。

A：できません。QRコードは1つです

## 5. 問い合わせ先

---

公益社団法人日本理学療法士協会 事務局 教育推進課

E-mail : [shougai\(★\)japanpt.or.jp](mailto:shougai(★)japanpt.or.jp)

※(★)を@に変換してください

※お問い合わせは必ずメールにてお願いします